（第３種郵便物認可）　社会　上毛新聞

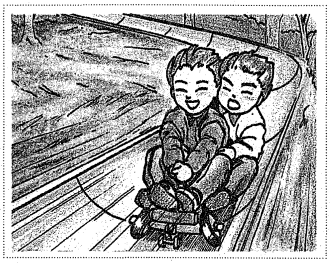
自然の中でスリル満喫

サマーボブスレー来春導入

太田・ぐんまこどもの国

最高速度は40キロ

大型遊具も続々設置



山斜面を利用した滑走路を一気に滑り降るサーボブスレーが、来年四月のゴールデンウイーク前にも太田・金山総合公園「ぐんまこどもの国」にお目見えすることになった。県土木部の岡田整備の一環としてザイルクライミングなどの遊習具とともに導入する。サーボブスレーはスキー場の夏場の誘客施設として脚光を浴びているが、県内での設置は初めて。

ボブスレーは雪で固めた滑らせたコースをそりで滑走するスポーツの人気種目。サーボブスレーはこのボブスレーに似ていることから名付けられた。

こどもの国に設置されるサーボブスレーはドイツ製。平均傾斜度十四度の山の斜面に幅一メートル、深さ五〇センチのステンレス製レールを敷き、二人乗りのスレッドと呼ばれる金属製のそりで一気に滑り降りる。

コースはへアピンカーブが多く、最高速度は時速四〇キロにも達する。スレッド中央のカバーで加速ニュートラル、ブレーキの三つの操作ができる。スタート地点とゴールには一〇メートルの高低差があり、移動は二人掛けの昇降機で行う。設置場所は同公園を一望できる山の中腹。恵まれた自然の中で仕快な気分を味わえるジャーとして大人も子供も楽しめそう。

県土木部は現在、同公園の第二期工事を進めており、サーボボブスレーなどの大型遊具は七〇〇メートルの高低差があり、移動は二人掛けの昇降機で行う。設置場所は同公園を一望できる山の中腹。恵まれた自然の中で仕快な気分を味わえるジャーとして大人も子供も楽しめそう。

県土木部は現在、同公園の第二期工事を進めており、サーボボブスレーなどの大型遊具も設置する。サーボブスレーは将来クライミング、子供たちが跳びはねる「ふわふわドーム」など